

2時間半ほどの釣り時間でこの釣果。仲橋下流にある吊り橋よりもさらに下まで釣り下った

抜群の水質と小型だが旨いアユが 自慢の泳がせ道場

ひだかがわ 日高川ダム上

有田川とともに日本一早い5月1日解禁からいきなりバリバリ全開！ 3ヶタ釣りが可能な、いわゆる龍神地区は小砂利底が中心ながらポイントはバラエティーに富み泳がせ釣りメインの攻略が基本だ！

解説◎廣岡保貴



ポイントは吊り橋の上にある浅い瀬肩部分。ひよっと簡単に引き抜いては……サッと引き舟のところまで小走りする

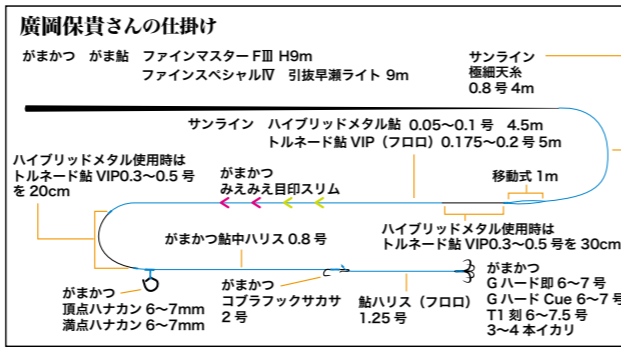


非金属ラインで 上飛ばし！

椿山ダムより上流、田辺市龍神村を流れる日高川ダム上エリア（支流の寒川は日高川ダム上エリアが非常に多くアユの味も抜群に多いのが特徴。全体に小砂利が多いため増水によってアカは飛びやすいが、すぐに良質の新アカが付くのがうれしい。特に龍神温泉から上流のアユが美味しく、上流ばかりを専門にねらう人もいるほど。温泉付近から上流は溪流相だが温泉より下流の龍神村安井から小家にかけては大蛇行を繰り返す。河原が広い開けた川相も多くなる。小又川、丹生ノ川、寒川など各支流も面白い釣りができる。

例年5月1日の解禁当初から数が釣れるのは、やはり龍神温泉周辺で3ヶタ釣りも可能。年によって5月でも15〜16cmが揃う場合もあるし8〜9月の盛期から終盤にかけては25cmクラスが釣れることもあるが、龍神地区はサイズのことややはり中小型がメインとなる。特に雨が頻りに増水を繰り返す年はアユの成長が遅れ小型メインの傾向はより顕著になるが、ただ放流量が多いため数はねらえる。放流量は人工産がメインだが天然遡上が多い年は下流からの汲み上げ放流もしている。

他の河川がまだ解禁前の5月や6月は釣り人が集中するが、流れが非常に長くポイントも多いので平日に釣行できればそれほど混雑を気にすることもなし、7月になればのんびり釣りができる。初期は比較的素直な追いをみせるアユが多く金属ラインでもよく釣れる。ただ大きめの石があると



2013年8月25日、雨の中、宮代地区の仲橋下流カーブ付近の瀬で。小型だが美しいアユが掛かった